



平成27年9月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年5月11日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 エスケーエレクトロニクス

コード番号 6677 URL <http://www.sk-el.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 石田 昌徳

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役

(氏名) 藤原 英博

TEL 075-441-2333

四半期報告書提出予定日 平成27年5月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年9月期第2四半期の連結業績(平成26年10月1日～平成27年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年9月期第2四半期	10,461	10.0	2,543	45.7	2,349	34.2	1,503	26.5
26年9月期第2四半期	9,514	44.0	1,745	—	1,750	—	1,189	—

(注) 包括利益 27年9月期第2四半期 1,940百万円 (42.4%) 26年9月期第2四半期 1,362百万円 (466.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年9月期第2四半期	134.19	—
26年9月期第2四半期	104.99	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年9月期第2四半期	21,789	15,193	62.8	1,221.82
26年9月期	21,907	13,420	54.9	1,072.97

(参考) 自己資本 27年9月期第2四半期 13,693百万円 26年9月期 12,025百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年9月期	—	0.00	—	15.00	15.00
27年9月期	—	0.00	—	—	—
27年9月期(予想)	—	—	—	15.00	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年9月期の連結業績予想(平成26年10月1日～平成27年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	20,000	3.0	2,300	△39.4	2,300	△36.7	1,500	△42.4	133.84

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 有
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年9月期2Q	11,368,400 株	26年9月期	11,368,400 株
27年9月期2Q	161,137 株	26年9月期	161,137 株
27年9月期2Q	11,207,263 株	26年9月期2Q	11,327,825 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、欧州諸国の財政問題や新興国経済の減速感が強まるなど、景気の先行きは不透明な状況になりました。一方、わが国経済におきましては、政府の経済政策および金融緩和策による企業業績の改善や、雇用環境の持ち直しの動きも見られるなど、景気は緩やかな回復基調で推移しました。

当社グループが属するフラットパネルディスプレイ業界におきましては、大型パネル市場では、ディスプレイサイズの大型化による面積需要の増加の影響から、テレビ向けパネルの価格上昇が継続しておりましたが、パネル需要が一服したことなどにより、一部のサイズについては価格下落に転じました。一方、タブレット端末向けパネルは、市場の成長鈍化にともない価格の下落が続きました。中小型パネル市場では、スマートフォンについて、大手ブランドが新機種を発売し、また小米(シャオミ)など一部の中国メーカーが着実に販売台数を伸ばしましたが、パネル価格は競争の激化によって下落しました。

なおパネルメーカーは、旧正月商戦や5月の労働節商戦などに向けて総じて高い稼働率を継続しました。

そのような状況の中、当社グループにおきましては、大型パネル向けフォトマスク需要は、開発と量産の両用途で前期に引き続き堅調であったことに加え、収益性の高い物件の割合が増加するなど、当社想定を上回って好調に推移いたしました。また、中小型パネル向けフォトマスク需要は、開発用途が減少した一方で、量産用途は増加しました。

その結果、当社グループの連結業績につきましては、売上高104億61百万円(前年同期比10.0%増)となりました。利益につきましては、営業利益25億43百万円(前年同期比45.7%増)、経常利益23億49百万円(前年同期比34.2%増)、四半期純利益15億3百万円(前年同期比26.5%増)と増収増益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べて1億18百万円減少し217億89百万円となりました。これは主に、受取手形及び売掛金が増加した一方で、現金及び預金や機械装置及び運搬具が減少したことによるものであります。

負債合計は、前連結会計年度末に比べて18億90百万円減少し65億96百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金や長期借入金が減少したことによるものであります。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて17億72百万円増加し151億93百万円となりました。これは主に、利益剰余金や為替換算調整勘定の増加によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想については、平成26年11月10日に公表いたしました「平成26年9月期決算短信」から変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更等)

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

(有形固定資産の減価償却方法の変更)

従来、頂正科技股份有限公司(連結子会社)の機械装置の減価償却方法は定額法によっておりましたが、第1四半期連結会計期間より定率法に変更いたしました。

当社グループの設備投資計画の見直しを契機として、技術革新による設備の経済的陳腐化の加速等を勘案する中で、定率法が当社グループの経済的実態をより適切に反映することができる費用配分方法であると判断いたしました。また、当社グループのグローバル展開の中で、海外拠点の重要性が高まり、グループ内の会計処理を定率法に統一する事がより合理的であると判断いたしました。

この結果、従来の方法に比べ、当第2四半期連結累計期間の減価償却費が118,477千円増加し、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益は118,477千円減少しております。

(会計上の見積りの変更)

(耐用年数の変更)

当社及び頂正科技股份有限公司(連結子会社)の機械装置は、当社グループの設備投資計画の見直しを契機に、第1四半期連結会計期間より耐用年数を変更しています。

ビジネス環境の変化、製品ライフサイクルの短縮等を勘案する中で、より実態に即した経済的使用可能予測期間に基づく耐用年数に変更するものです。

この結果、従来の方法に比べ、当第2四半期連結累計期間の減価償却費が28,299千円増加し、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益は28,299千円減少しています。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,561,380	6,689,688
受取手形及び売掛金	3,981,819	5,550,152
商品及び製品	131,293	66,020
仕掛品	276,781	210,996
原材料及び貯蔵品	1,328,800	1,243,047
その他	523,297	392,668
貸倒引当金	△1,773	△4,763
流動資産合計	13,801,600	14,147,810
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,628,176	3,578,498
機械装置及び運搬具(純額)	2,128,931	1,586,916
土地	1,607,750	1,607,750
その他(純額)	203,654	248,937
有形固定資産合計	7,568,512	7,022,103
無形固定資産		
のれん	23,187	17,866
ソフトウェア	143,273	134,034
無形固定資産合計	166,460	151,900
投資その他の資産		
その他	371,168	467,766
貸倒引当金	△200	△100
投資その他の資産合計	370,968	467,666
固定資産合計	8,105,941	7,641,670
資産合計	21,907,541	21,789,480

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,857,952	2,974,449
1年内返済予定の長期借入金	600,000	600,000
未払法人税等	855,377	1,100,333
役員賞与引当金	60,000	-
その他	2,201,136	1,309,308
流動負債合計	7,574,466	5,984,091
固定負債		
長期借入金	800,000	500,000
その他	112,626	112,190
固定負債合計	912,626	612,190
負債合計	8,487,093	6,596,281
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,109,722	4,109,722
資本剰余金	4,335,413	4,335,413
利益剰余金	3,559,021	4,894,772
自己株式	△148,328	△148,328
株主資本合計	11,855,828	13,191,579
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	70,670	118,546
為替換算調整勘定	98,582	383,099
その他の包括利益累計額合計	169,253	501,645
少数株主持分	1,395,366	1,499,973
純資産合計	13,420,448	15,193,199
負債純資産合計	21,907,541	21,789,480

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年10月1日 至平成26年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年10月1日 至平成27年3月31日)
売上高	9,514,065	10,461,041
売上原価	6,663,821	6,588,453
売上総利益	2,850,244	3,872,587
販売費及び一般管理費	1,104,563	1,329,243
営業利益	1,745,681	2,543,344
営業外収益		
受取利息	2,213	4,466
不動産賃貸料	14,749	14,701
その他	24,878	5,874
営業外収益合計	41,841	25,042
営業外費用		
支払利息	10,704	7,366
為替差損	6,538	184,108
その他	19,853	27,444
営業外費用合計	37,096	218,919
経常利益	1,750,426	2,349,467
特別利益		
補助金収入	100,000	100,000
特別利益合計	100,000	100,000
特別損失		
有形固定資産除却損	21,786	673
特別損失合計	21,786	673
税金等調整前四半期純利益	1,828,640	2,448,793
法人税、住民税及び事業税	493,338	1,016,963
法人税等調整額	51,707	1,772
法人税等還付税額	-	△95,879
法人税等合計	545,046	922,856
少数株主損益調整前四半期純利益	1,283,593	1,525,936
少数株主利益	94,323	22,077
四半期純利益	1,189,270	1,503,859

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年10月1日 至平成26年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年10月1日 至平成27年3月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,283,593	1,525,936
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△9,565	47,875
為替換算調整勘定	88,528	367,047
その他の包括利益合計	78,963	414,922
四半期包括利益	1,362,556	1,940,859
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,249,592	1,836,252
少数株主に係る四半期包括利益	112,964	104,607

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。